

2020/1/28-2

(語学上達の件)

学校にせよ、企業にせよ、家庭教師を個別に雇うにせよ、先生がいて生徒がいて「授業をする」というのには、コミュニケーションの本来の目的から外れることを除いても、語学上達の上においてすら限界があるような気がします。

何故かというともあまりにも「語学」を意識しすぎ「上達」をも意識しすぎるからです。

ならば、どうすればいいのか？

自分の経験則に従えば

「同じ目的に向かって共に作業をする」ことが一番早道のような気がします。

目的を「語学上達」に限ってさえ、それが一番かと。

「語学上達」において一番肝心なことは「語学上達を忘れる状態に自分を持っていく」ことではないかと思っております。

「語学上達」において一番の弊害要因は「語学上達「過剰」意識」だと思っているからです。

それを除くには「我を忘れて、ともに夢中で作業をする」のが一番早道。

そしてまた、気づけばそれが本当のコミュニケーションに、気づかぬうちに「既に」なっている、というような。

非常に限られた、自分の数少ない経験則上の話ではありますが、一つの選択肢に加えていただければ…幸いかと、存じおります。